

京都府社会福祉協議会 第6次中期計画を策定しました

2025
5・6
no.619『京都の福祉』は福祉関係者に福祉の課題や情報を提供する
「京都府社会福祉協議会」(府社協)が発行する広報誌です支える人を支える
京都の福祉

● 令和7年度京都府社会福祉協議会

事業計画・予算

▼4ページ

● 今月の「ふくしびと」は今西杏菜さん

▼6ページ

もえくさ



N.K

Y この春、新しい業務に従事することになった。今度の部署では固い表現の仕事に接することが多く悩みの種となっている。「包括的支援体制整備事業」もその一つである。

Y 「包括的支援体制」というと、高齢分野を思い浮かべる方も多いかもしれないが、年齢や状況に関係なく誰もが地域の中で安心して暮らせる社会を目指している。

Y 例えば、子育てに悩む親、障害を持つ方、仕事や住まいに困っている若者、孤立しがちな方など地域にはさまざまな「生きづらさ」を抱える人がいる。

Y 地域が「困っている誰か」に気づき、声をかけ、必要な支援につなげる仕組み。それが「誰一人取り残されない社会」への一歩であり、それを専門職と地域住民が連携しながら支えていくことが「地域共生社会」の考え方である。

Y まずは固い言葉を柔らかに伝えることを心掛けながら、「誰もが支え・支えられる側に成り得る」という発想を持ち、自分らしく暮らせる社会を目指したい。

京都府社会福祉協議会

第6次中期計画を策定しました

第6次中期計画の特色・ポイントについて

■コロナ禍を越えて

前期計画期間中に、誰もが経験したことのないコロナ禍に見舞われ、暮らしのあり様が一変し、人と地域の交流が制限され、絆の希薄化も余儀なくされました。その厳しい環境の中、住民やボランティアの皆さんは、つながりを紡ぎ直し、支え合いました。社会福祉施設においても、役職員が困難に向き合い、利用者の生活を支え、権利を守りました。京都府社協、市町村社協は一丸となって生活福祉資金コロナ特例貸付や生活支援等に取り組み、一人ひとりの暮らしを支えました。

また、この間オンライン会議・研修などICTの活用が必須となる一方、福祉を担う人材の不足が喫緊の課題となっています。今後、これらの課題を解決し福祉の価値を高めるためには、AI・ロボットの活用・導入を推進することが重要であり、他産業との連携も必要になります。テクノロジーの活用やDX化により、福祉サービスの質

■計画の期間

令和7年度～令和11年度（5年間）

■基本理念

「つながりをいかにして、だれもが尊厳をもっていきることができる社会をつくる」

■使命

基本理念に基づき、目指すべき社会（推進目標）に向かって、住民主体の原則により、住民とともに、時代の変化に立ち向かい、行政や地域福祉を進める団体・施設等と連携協働し、支える人と組織を支え、誰一人取り残されない地域共生社会の実現と京都府らしい福祉の地域づくりを進めます。

■目指すべき社会（推進目標）

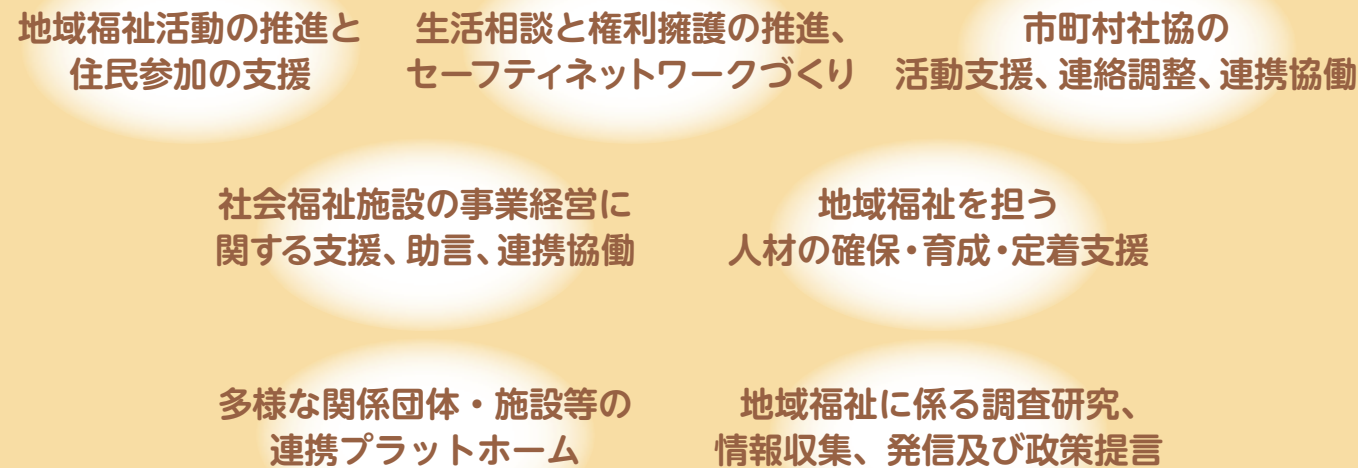
基本理念を実現する目指すべき社会として、次の「推進目標」を掲げます。

- 国籍、人種、民族、性別、性自認、性的指向、年齢、身体的精神的状況、宗教的文化的背景、社会的地位、経済状況などの違いに関わりなく、全ての人の尊厳が守られる社会
- 多様性を認め合い、一人ひとりが大切にされ、ともに支え合いながら、生活することができると社会
- 住みたい地域で、自己決定・社会参加をしながら、支援を受けられ、つながりを持って、安心して暮らすことができる社会
- 誰もが安心して福祉・介護・保育等のサービスや必要な支援を受けることができる社会
- 福祉で働く人が専門性と誇りを持ち、自分を大切にすることができると社会

■第6次中期計画の特色・ポイントについて

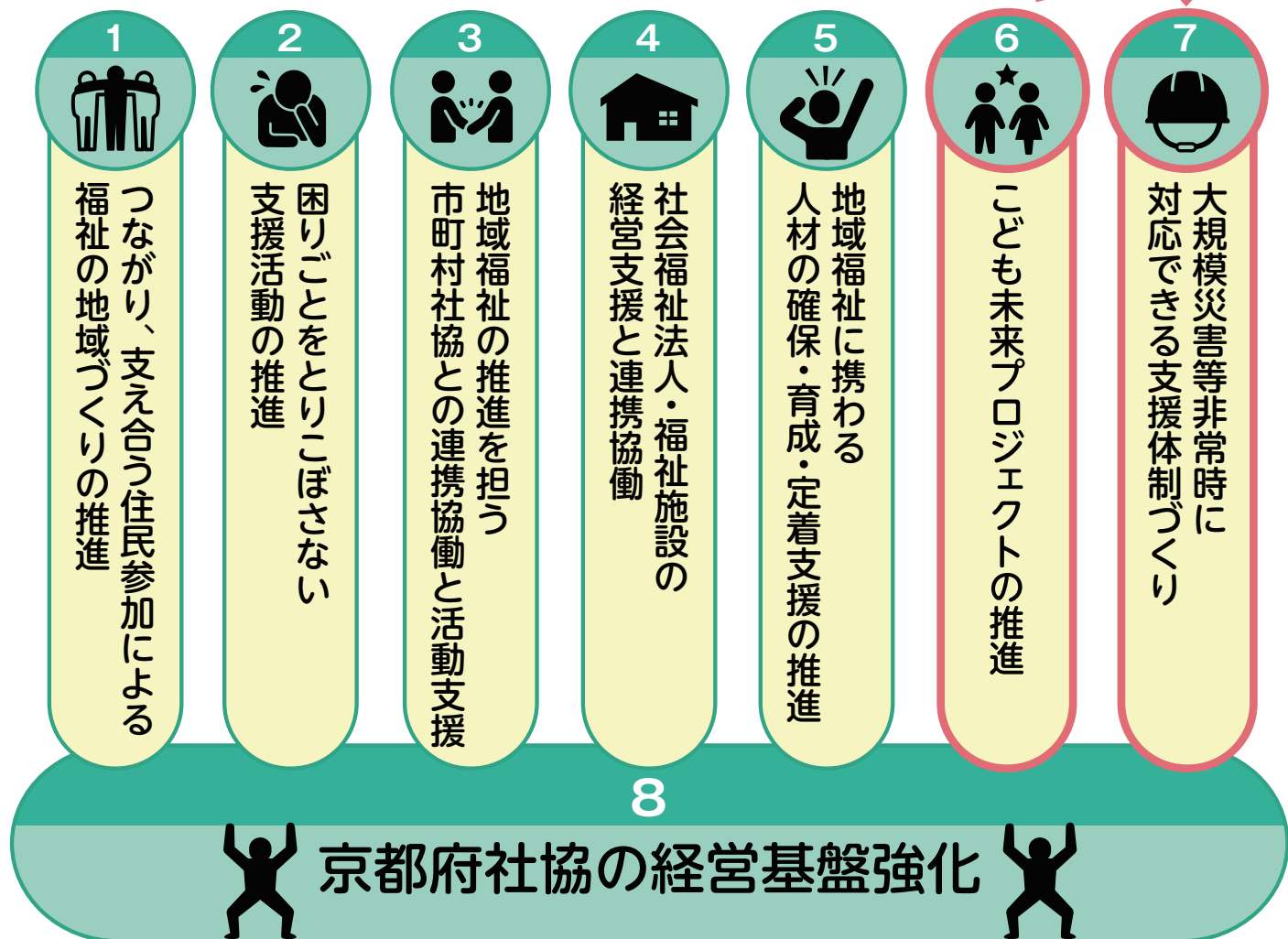
- 基本理念（ビジョン）の明示と重点方針・具体的な取組方策を示した計画、毎年度事業計画の策定とPDCAサイクルによる進捗管理
- 多様な主体との連携協働、人々の温かい心と使命感を大切にする計画
- コロナ禍を踏まえた内容、「住民主体」の考え方に基づく計画、京都府社協を地域福祉推進のプラットフォームとして位置付け
- 福祉の地域づくりと個別支援の一体的展開
- 生活福祉資金コロナ特例貸付フォローアップ支援による住民相談・支援と地域づくり
- 総合的な地域福祉権利擁護の推進・提案
- 社会福祉法人・福祉施設の経営支援（京都府介護・福祉職場業務改善支援センターの設置）
- こども・若者支援、災害ボランティア支援の充実強化（「あすいろ・プロジェクト」の実施）
- 京都府社協の経営基盤強化（調査・研究機能の充実、政策提言能力の強化、人材育成の充実など）

7つの役割・機能



8つの重点方針

重点事項



京都府社会福祉協議会

令和7年度事業推進の基本的な考え方

京都府社会福祉協議会においては、地域共生社会の実現と京都府らしい福祉の地域づくりの実現をめざす第6次中期計画の初年度として、中期計画の重点方針と取組方策に基づいて事業を推進していきます。

事業計画・予算

◆重点方針・ 主な事業実施計画

01 つながり、支え合う 住民参加による 福祉の地域づくりの推進

- 地域の实情に応じた活動を支援するため、京都府市町村社協連合会と連携し、地域ひとつなぎ事業によるモデル事業の実施（新）
- 京都ボランティアバンク事業において地域の課題解決や福祉のまちづくりを行う団体への助成事業の充実
- 地域における福祉教育の取り組みを推進するため、社協・社会福祉法人・教育機関等との協議の場「学びのプラットフォーム」の設置（新）

02 困りごとを とりこぼさない 支援活動の推進

- 市町村の实情にあった困りごとを取りこぼさない支援の仕組みづくりと誰もが社会に参加しながら自己実現できる取り組みを支援するため、重層的支援体制構築市町村後方支援事業の実施
- 「温ったか京都・寄り添いワーカー」に対する実務研修の実施や活動事例集を作成するとともに、事業推進会議を設置して事例検討やワーカー育成プログラムの開発等を実施
- 京都府社協が担う法人後見事業の推進
- 身寄りのない人が安心して暮らすことができるための死後事務委任契約や簡易な金銭管理支援の仕組みなど総合的な権利擁護支援体制について検討会議を設置して協議を行い具体的なスキームを提案（新）

03 地域福祉の推進を担う 市町村社協との 連携協働と活動支援

- 市町村社協常務理事・事務局長会議を定期的及び随時開催し、社協を取り巻く今日的な課題の共有や先進事例の共有を図る
- 府社協・市町村社協職員が自由に参加できる情報共有の場「社協オンラインサロン」を定期的に開催し、市町村社協同士の活動共有と学びの機会を提供

04 社会福祉法人・ 福祉施設の経営支援と 連携協働

- 物価高騰の影響など社会福祉法人の経営状況に関する調査の実施
- 京都地域福祉創生事業（わっかプロジェクト）を通じて、社会福祉法人に

05 地域福祉に携わる 人材の確保・育成・ 定着支援の推進

- による公益的取組の推進を支援
- 介護・福祉現場の生産性向上を推進するため、京都府介護・福祉職場業務改善支援センターを設置し、担い手不足を緩和し、福祉サービスの質と働く環境の向上を目指す（新）

07 大規模災害等非常時に 対応できる支援体制づくり

- 市町村社協・災害ボランティアセンターと連携した取り組みの推進
- 被災者の生活支援を支える人材育成を行うため、災害ケースマネジメント研修を実施（新）
- D W A T登録者の継続的な学びの場とD W A Tにかかる広報のため、京都府総合防災訓練など、京都府域、市町村域の防災訓練への参加

京都府社協の 経営基盤強化

- 寄付申請について、クレジットによる手続きの導入（新）
- 不適切事案発生時の対応を含めたB C Pの改訂（新）
- 広報誌「京都の福祉」の発行やS N S（X）掲載等の充実、府社協紹介リーフレットの改定・動画作成
- 福祉の出前講座等アウトリーチ型の情報発信の実施（新）
- 京都府知事との福祉懇談会を関係団体と連携して開催
- 現在の職階の役割や研修体系を見直し、「人材育成方針」の作成（新）

06 こども未来 プロジェクトの推進

- あす・いろプロジェクトによりケアリーバーの修学や就職の支援を実施（新）
- 生活福祉資金（教育支援資金）により高校や専門学校、大学等への進学を支援
- 京都ボランティアバンク事業において青少年のボランティア活動への助成を新設し、若者の活動支援を強化（新）

生活福祉資金会計の概要

生活福祉資金には、教育資金をお貸しする教育支援資金、一時的に必要な経費をお貸しする福祉資金、失業等によってお困りの方に資金をお貸しする総合支援資金などがあります。令和7年度の貸付金、償還金の見込みは下記のとおりです。

（単位：千円）

	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	増減
貸付	456,600	443,200	13,400
償還	1,449,492	1,735,651	△ 286,159

令和7年度予算の概要

一般会計

（単位：千円）

	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	増減
事業活動収入	526,522	524,662	△ 1,860
事業活動支出	874,419	838,329	36,090
事業活動収支差額	△ 347,897	△ 313,667	△ 34,230
その他の活動収入	667,133	647,531	19,602
その他の活動支出	615,025	614,449	576
その他の活動収支差額	52,108	33,082	19,026
当期末支払資金残高	859,011	1,033,521	△ 174,510

令和7年度 **スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！**

ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円
基本補償(A型)保険料	基本補償(A型)保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円

- オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ●医務室の医療事故補償
- オプション3 ●看護職の賠償責任補償
- オプション4 ●借用不動産賠償事故補償
- オプション5 ●クレーム対応サポート補償

2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償 (普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償 (労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
- 2 使用者賠償責任補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償 (役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課)
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ24-11108より抜粋)

夢中！熱中！ふくしびと

京都府内で福祉の現場で働く人たちの熱い想い、メッセージを生声でお届けします。



課題解決のために
自分の引き出しを
増やしていきたい

亀岡市社会福祉協議会 ● 今西 杏菜さん

高校1年生のときに参加した「夏休み社会福祉体験学習」。そこで出会った福祉の世界が、今西杏菜さんの人生を大きく動かした。障害のある方と触れ合う中で、「怖い」という先入観が変わり、人と関わる喜びを知った。大学では社会福祉学を専攻し、ボランティア活動にも積極的に参加。地域で人とつながる福祉の魅力を伝える仕事を志し、亀岡市社会福祉協議会に入職して2年目を迎える。

◆この職場を選んだ決め手は？

福祉の原点となった場所だったからです。「地域とつながる福祉を、今度は自分が発信したい」と思い、入職を決めました。

◆職場のいいところ

先輩や上司が日常的に声をかけてくれて、相談しやすい環境です。困ったときも自然に助け合える温かい雰囲気があります。

◆休日の過ごし方

ライブやイベントに足を運ぶ「推し活」が癒しの時間です。推しがいるから仕事も頑張れます。

いるんだと嬉しくなります」。特に心に残っているのは、初めて一人で担当した教育支援資金の相談。大学進学を控えたご家庭から、下宿先に関する相談を受けた時のこと。「お金のことは息子に言いにくいから今西さんに相談したい」と、自分を頼ってくれたその一言が、今も胸に残っている。将来は精神保健福祉士の資格取得を目指している。「精神障害のある方の支援にも関わる中で、自分の引き出しを増やしていきたいんです」。その言葉の奥には、目の前の「ひと」と真摯に向き合い続ける、今西さんのまっすぐな姿勢がにじむ。

【施設名】(福)亀岡市社会福祉協議会
 【場所】京都府亀岡市余部町樋又 61-1 (ふれあいプラザ内)
 【URL】http://www.fukukame-net.or.jp/
 【TEL】0771-23-6711 【FAX】0771-24-0350

ご寄贈・ご寄付・助成金ありがとうございました。 ご芳志の趣旨に沿い活用させていただきます。



寄贈

令和7年1月 「株式会社ツルハホールディングス」様及び
「クラシエ株式会社」様 車いす2台
令和7年1月 「関西遊技機商業協同組合」様 車いす7台
令和7年2月 「株式会社ケーエスケー」様 車いす 25台
令和7年4月 「NTT 西日本京都支店」様 米一俵



寄付

令和7年2月 「京の活動写真下鴨映画祭 ご来場者有志」様 50,000円
令和7年2月 「行政書士 奥山信事務所」様 10,000円
令和7年4月 「株式会社アミパラ アミパラ久御山店」様 300,000円



① 福祉人材・研修センターでは、就職フェアやセミナー開催のほか、施設職員を対象とした研修を実施しています。人材の確保や定着等にしっかりと取り組んでいきます。
② 生産年齢人口の減少が見込まれる中、今後は生産性向上が課題になると感じています。福祉職場の環境改善に向けてどのような取組ができるか考えていきたいです。

京都府福祉人材・研修センター
山田康之



令和7年度の新入職員を

★ よろしく ★ お願いします!

今年度から京都府社会福祉協議会に
新たに仲間入りした3名を紹介します。

- ① 福祉への想い（希望理由を含めた府社協での抱負）
- ② 気になる福祉のテーマと理由



総務企画課
山本歩

① 大学時代に福祉を学んでいたことをきっかけに、幅広い分野に携わることのできる府社協を志望いたしました。福祉業界の経験がなく未熟な私ですが、一つずつ経験を重ねていきたいと思っています。
② 高齢者福祉について関心があります。介護が必要になっても、その人らしい生活を送るために社会はどうあるべきなのか考えていきたいです。



福祉資金課
齋藤元志

① 福祉の仕事を幅広く知りたいたいと思い志望しました。京都府社協の基本理念「つながり」「尊厳」を心がけて、これから仕事で携わる皆様とのご縁を大切にします。
② 生活福祉資金を通じた社会貢献です。相談者様の経済的自立と生活意欲の助長のための適切な制度運用と、生活福祉資金業務に関わる方々が安心して働けるように業務を遂行します。

● 本会へのご意見等は、右記二次元コードの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。



京都府社協

検索



本紙は、共同募金の
配分金によって
つくられています。